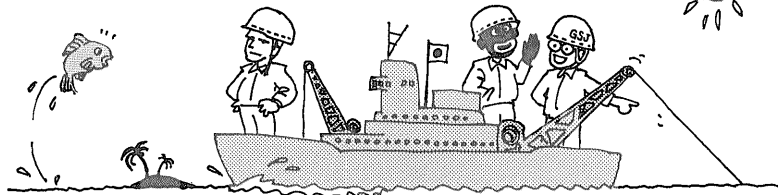


海外室だより



No. 9

紋どころ その2

地質ニュース3月号に引き続き 各国地質調査所のシンボルマーク南米編を御紹介します。

1) エクアドル地質局 (Direccion De Geologia)

鉱山・石油省に属する地質局のマークは 熔鉱炉にハンマーの交叉です。左右に鉱山・炭化水素(石油)省下側に地質局の字が配されています。

2) ペルー地質・鉱物・冶金研究所 (Instituto Geologico Minero y Metalurgico)

エネルギー・鉱山省 地質・鉱物・冶金研究所のマークは 中央にペルーの国土とハンマーの交叉を配し 下側に大きく IN (研究所) GE (地質) M (鉱物) MET (冶金) と記された大変にわかり易いデザインです。

3) ボリビア地質調査所 (Servicio Geologico De Bolivia)

ボリビアの国土に一本のハンマーを配し 上部にボリ

ビア地質調査所 下部に所在地のラパスと書いたマークを使用しています。ボリビアはパラグアイと共に南米大陸でただふたつの海に面していない内陸国です。昔は太平洋岸のアリカ タクナまでが領有地であり 内陸国ではなかったのですが チリ硝石採掘をめぐる国際紛争の結果おきた太平洋戦争 (1879~83年) に敗れて アリカはチリに タクナはペルーに奪われ 海への出口がなくなってしまいました。しかし 海軍はそのまま保有しており チチカカ湖に軍艦を浮べております。

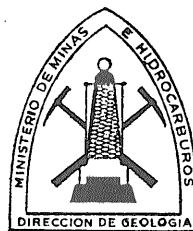
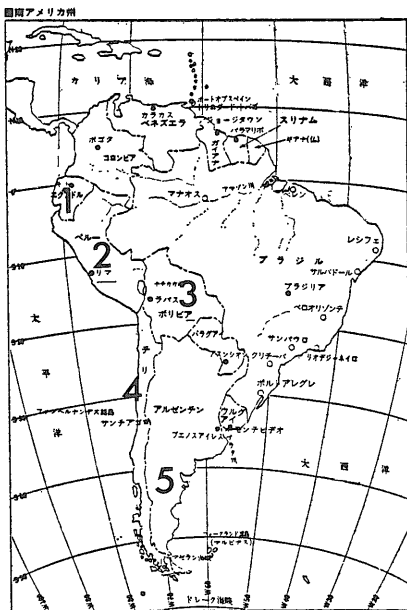
4) チリ国立地質・鉱物調査所 (Servicio Nacional De Geologia y Minería)

原色は濃いセピアを使った抽象的なデザインと 右側にチリ国立地質・鉱物調査所の字を併用しています。チリは20世紀初頭まで いわゆるチリ硝石の産地として世界の化学窒素原料の55%を供給していました。

日本も爆薬 肥料の原料として盛んに輸入したものです。しかし 第一次大戦中に火薬原料の不足に悩んだドイツが空中窒素固定法を発明して以来 チリ硝石の需要は激減してしまっています。

5) アルゼンチン国立地質鉱物局 (Direccion Nacional De Geologia y Minería)

今まで紹介したマークの中で もっとも芸術的な模様の印章です (⑤-a)。日本の7.5倍の面積をもつアルゼンチンは 自治権を持つ22の州と 1直轄領 1連邦区に行政区を分け 各州にも地質局が置かれています。⑤-b bはチュブト州鉱山・地質局 (Minas y Geologia, Provincia del Chubut) のマークです。(つづく・桑形)



①エクアドル



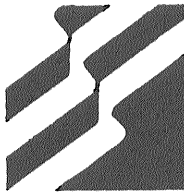
②ペルー



③ ボリビア



⑤-a アルゼンチン



SERVICIO NACIONAL
DE GEOLOGIA
Y MINERIA • CHILE

④ チリ



⑤-b アルゼンチン

これから開催される地学関係の主な国際会議

名 称 開催時期・場所	連 絡 先	要旨制限 締切日 登録料 等
Landplan III-A Symposium (The Role of Geology in Urban Development in Southeast Asia) 1986年12月15—20日 Hong Kong	Conference Secretary Geological Society of Hong Kong % Dept. Geography and Geology Univer- sity of Hong Kong Pokfulam Road Hong Kong	締切済 (3月31日) 登録料不明 (5月に2nd Circular)
2nd Intn'l Conference of the Palaeoenvironment of East Asia 1987年1月9—14日 Hong Kong	Secretary Palaeoenvironment Conference Centre of Asian Studies Uni- versity of Hong Kong Pakfulam Road Hong Kong	300~500語 1986年6月末日 US\$150
2nd Intn'l Symposium of the Devonian System (1st Circular) 1987年8月17—20日 Calgary, Canada	同左 % C. S. P. G. 505-206-7th Ave. S. W. Calgary, Alberta Canada T2P OW7	詳細は2nd Circular (1986年秋)で、 (2nd Circular 申込用紙は海外室 にあり)
Pacific Rim Congress 87 (The Geology Structure, Mineralization and Economics of the Pacific Rim) 1987年8月26—29日 Gold Coast, Australia	Secretary Pacific Congress '87 Conventions Department P. O. Box 489, G. P. O. Sydney, N. S. W. 2001 Australia	参加申込用紙は海外室にあり (1986年8月まで)